

実施日時: 8月16日 (日) 9:00～11:30
天候: 曇り
報告者: 上田・中川 望

項番	作業内容	従事人数
	13日～14日に千葉県は記録的な豪雨に見舞われました。当こんぶくろ池自然博物公園も倒木や木道傾斜等の被害に加え、大量の雨水が園内に流入した跡が見られました。 本日の活動には29名の会員が参加し、豪雨の被害状況の調査や豪雨後の園内整備及びその他の活動を行いました。その活動内容は、①木道の補修及び整備、②倒木の玉切り、③園路・公道沿いの倒木及び倒木が懸念される木への対応の検討、④チョウのモニタリング調査、⑤ナラ枯れ被害木の調査、⑥ワタラセツリフネソウエリアの雑草抜き取り、⑦当園名の看板作りと道具の整備、⑧秋のイベントチラシの掲示、等々を行いました。	
1	木道の補修及び整備 弁天水路沿いの木道の一部が地盤のゆるみの影響で傾斜していたので、その部分の補修を行うと共に木道沿いの雑草除去等の整備を行いました。その後、北側水路沿いの木道を確認したところ、木道下の基礎材がズレている部分があったので、その補修を行いました。	8名
		
2	倒木の玉切り 弁天池に向かう園路を塞ぐ形で倒木があったため、その倒木を玉切りして除去しました。	2名
		
3	園路・公道沿いの倒木および倒木が懸念される木への対応の検討 通行への危険度および重機侵入による植生への影響の観点から、業者による伐採が望まれる木と、NPOで処理対応を予定する木を仕分けしました。NPOでの対応は春先のスズメバチ営巣期までに逐次実施予定です。	7名
		
	公道へ倒れこみが懸念される枯木 業者による伐採が望まれる ナラ枯れ被害を受けた倒木(生存) 園路近くの根元はスズメバチ営巣 対策を継続する予定 ネットをはがし、切った丸太は園路から10m以上離して置く予定 (R8/3/28撮影)	
参加者 29名 (会員 29名)		

項番	作業内容		従事人数																									
4	チョウのモニタリング調査 <table><tr><th>種名</th><th>頭数</th></tr><tr><td>ヤマトシジミ</td><td>8</td></tr><tr><td>ダイミョウセセリ</td><td>2</td></tr><tr><td>イチモンジセセリ</td><td>5</td></tr><tr><td>コジャノメ</td><td>1</td></tr><tr><td>サトキマダラヒカゲ</td><td>11</td></tr><tr><td>クロアゲハ</td><td>1</td></tr><tr><td>コムスジ</td><td>1</td></tr><tr><td>ルリタテハ</td><td>1</td></tr><tr><td>アゲハ</td><td>1</td></tr><tr><td>カラスアゲハ</td><td>1</td></tr><tr><td>クロアゲハ</td><td>1</td></tr><tr><td>合計</td><td>33</td></tr></table> 7/19,26,8/16は高温を避け定例活動開始前の8時台に調査を開始しました。今回は9時20分から開始し11種33頭を確認しました。  イチモンジセセリ ダイミョウセセリ	種名	頭数	ヤマトシジミ	8	ダイミョウセセリ	2	イチモンジセセリ	5	コジャノメ	1	サトキマダラヒカゲ	11	クロアゲハ	1	コムスジ	1	ルリタテハ	1	アゲハ	1	カラスアゲハ	1	クロアゲハ	1	合計	33	6名
種名	頭数																											
ヤマトシジミ	8																											
ダイミョウセセリ	2																											
イチモンジセセリ	5																											
コジャノメ	1																											
サトキマダラヒカゲ	11																											
クロアゲハ	1																											
コムスジ	1																											
ルリタテハ	1																											
アゲハ	1																											
カラスアゲハ	1																											
クロアゲハ	1																											
合計	33																											
5	ナラ枯れ被害木の調査 園内でナラ枯れが発生した2020年度以降、被害木調査を継続しています。今年度初めての調査を実施して、下記の範囲の確認を行いました。 調査区内完了:南1〜3、中央1〜2,5,7,8 一部完了:中央3,9 	4名																										
6	ワタラセツリフネソウエリアの雑草抜き取り ワタラセツリフネソウの生育環境保持に向け、ロープ柵外からできる範囲で雑草の抜き取りを行いました。 	11名																										
7	当園名の看板作りと道具の整備 前回に引き続き、当園名の看板作りを行いました。併せて、ノコギリ等の道具の整備も行いました。 	4名																										
8	秋のイベントのチラシ掲示  「クモの観察会」「親子でチャレンジ！里山の森づくり体験と森あそび」のチラシを園内の掲示板に張り出しました。こんぶくろ池脇にある掲示板では2枚の掲示物をはがしてチラシに張り替えましたが、千葉豪雨の後でも掲示物に水の浸み込みや汚れがありませんでした。頑丈な屋根付き掲示板が威力を発揮しました。	1名																										

項番	作業内容	従事 人数
	◆「令和8年8月千葉豪雨」 警戒レベル5大雨特別警報(8/13,14)後の様子 園路を塞ぐ倒木は1本にとどまりましたが、ナラ枯れ被害木の新たな倒木、園内東などで倒木を確認。 北側排水路での一時的な約60cmの増水、地金堀沿いおよび弁天水路周辺の木道が浮いた痕跡、 西側道路からワタラセツリフネソウエリアへの流入の痕跡など大量の水が園内に流入した跡が見られました。 北側排水路(R8/8/15) ブロック1枚の高さは30cm 北側排水路 鉄柵の上流側 新しい葉がかかっている 北側排水路 鉄柵の下流側 北側排水路沿い 土壌の上に細かい葉や枝が堆積 地金堀沿いの木道 浮き上がった痕跡 地金堀沿い 三角コーンの転倒・ ナラ枯れ被害木上部が折れ落下 弁天水路沿いの木道 浮き上がった痕跡 弁天池の南側 園路を塞ぐ倒木 8番路近く 傾いたナラ枯れ被害木 ワタラセツリフネソウエリア西側 道路側からの水の流入跡(R8/8/15) ワタラセツリフネソウエリア西側 道路側からの水の流入跡(R8/8/15) ワタラセツリフネソウエリア西側 植物が園内方向に傾く(R8/8/15)	